こんにちは。
Ko-n-ni-chi-wa。

北海道帯広市立
啓北小学校
PTA広報

号外

啓北小学校PTA事務局
2023年2月27日発行

感動体験 プロジェクト
理科実験教室
3年生・5年生

講師の境智洋先生
うおお ばくはつだぁ〜！
バラが バラバラ…

水を入れて冷やした試験管に雪をちょっと入れて、水が一気に氷る実験が楽しかったです！とてもびっくりしたのでほかにもいろいろな実験をしたいと思いました。[redacted]

12月13日(火) 講師に北海道教育大学釧路校の教授・**境智洋**先生と研究室の学生5名をお迎えして**理科の実験教室**を行いました。
3年生の授業では、塩を入れた氷の中に水を入れた試験管をつからせてゆっくりと冷やすことで起こる**「過冷却」の現象**について観察。高校2年生で学習する言葉だそうですが、授業の終わりには誰もが「過冷却」という言葉を覚えていましたよ!
5年生の授業では、**液体窒素**を使ったダイナミックな授業を展開。凍らせた「バラの花」や「もやし」がまるでガラス細工のように粉々に砕け散る様子を目の当たりにした子どもたちから驚きとともに大きな歓声が沸きおこりました。

おもしろかったのは、バケツに液体窒素を入れて爆発させたことと、もやしとバラがこおってバラバラになったことです。境先生のお話もわかりやすかったし、理科の世界が気になりました。[redacted]

けいほく小学校PTA
子どもが笑顔になる感動体験プロジェクト

小林睦
PTA副会長

瀬口朋子
PTA監査

武田大悟
PTA会長

鈴木元康
PTA副会長

コロナ禍の制限がある生活の中、学校という学びの中に
いつもと違う感動を吹き込むことができれば…
という思いが発展したのが、感動体験プロジェクトの始まりです。
普段なかなか味わうことのない感動的な授業から、
「子どもたちの知識や経験を深めてほしい!」
そんな願いを込めたこのプロジェクトには、
PTA会費を活用させていただいています。
今後はPTA会員のみなさんからいただいたアイデアを
企画として実施したいと考えています。

感動体験プロジェクト
熱気球体験
4年生

講師の眞田明範さんと芳子さん

熱気球のしくみが知れたし、理科の実験みたいで楽しかったです。気球を飛ばす方法も分かってよかったです。[redacted]

1月19日(木) 講師に本校の保護者でもある**眞田さんご夫婦**をお招きし、身近な材料で楽しくできる**熱気球**の作り方や飛ばし方を教えていただきました。
ポリ製のゴミ袋に好きな絵を描き、固形燃料で温めた空気を利用して空中に放ちました。
バランス良く**体育館の天井近くまで舞い上がる袋**もあり、あちらこちらで楽しそうな声が上がりました。

予想以上のリアクションで楽しかったです。大人になった時に今日のことを思い出して同じように「親から子へ」楽しい経験をさせてあげてほしいです。

感動体験プロジェクト
宇宙教室
6年生

講師の毛利奉信さん

太陽と月の大きさを学んだり、太陽の周りの炎が何かなどを学んだりしました。宇宙には、多くの奇跡や偶然が続いていることも分かり、本当に楽しくて、分かりやすい授業でした。[redacted]

9月20日(火) 講師に宇宙飛行士の毛利衛氏の兄で元道立高等学校長の**毛利奉信**さんをお迎えして、**宇宙教室**を行いました。太陽や月のこと、衛氏が宇宙飛行士になるまでのお話をしていただきました。
この日はあいにくの曇り空のため屋外での観測は中止し、体育館で月の模型を使って望遠鏡で観測。
授業の最後に、衛氏が地球に帰ってきて空気を吸った時に感じた美味しさについて触れ、
地球はかけがえのない奇跡の星であることを強調されました。
後日、晴れた日に望遠鏡で直接太陽や月を観測することができ、子どもたちも大喜びでした!

あつい日もゆきの日も子どもたちの「見守り」ありがとうございます
スクールガードプロジェクト

コロナ禍で従来のPTA活動ができなくなり、密にならずにできることはないかと、
当時の役員で話し合って始めた活動です。**登下校時間**に合わせていつでも気軽に参加することができ、
腕章を付けている大人がいることで、**子どもたちに安心**を与えることができます。

こんにちは。
Special Interview
スペシャルインタビュー

これからのPTA活動のこと
これからのプロジェクトのこと
武田PTA会長に聞いてみました

私の野望はずばり、啓北小で〝ギネスに挑戦〟です！

帯広市立啓北小学校PTA会長

武田（たけだ）大悟（だいご）

まずは自己紹介からお願いします

ＰＴＡ会長をさせていただいています武田大悟です。松坂世代の42歳。啓北小学校8年目、ＰＴＡ役員6年目、会長2年目です。家族構成は、妻と長女(中2)・二女(5年2組)・長男(2年1組)の5人家族、仲良し家族です(笑)。

役員になったキッカケは?

当時、長女の同学年のお父さんからお誘いを受けました。町内会で一緒に活動した経験もあった方でしたし、自分にできることがあればと考え、その場で「やりますよ」とお伝えしたことがキッカケです。役員とは無縁と思っていたので、まさか自分がＰＴＡ会長になって、今こうしてインタビューまで受けることになるとは思ってもみませんでした。

ＰＴＡの印象は?

当時は「知る人ぞ知る組織」と正直思っていました。総会すら出たこともありませんでしたし。学校行事には参加していましたが、身近に感じてはいませんでした。

ＰＴＡ活動をしてみての感想は?

自分の知らないところで、子どもたちのためにたくさんの方々が関わって下さっているのだなと感じました。役員にならなければ知り合えなかったであろう人たちとたくさん出会えましたし、同じ保護者ですから、すぐ打ち解けられました。子どもたちと接する機会も増えて勝手に楽しんでいます。

啓北小学校の印象は?

保護者の皆さんがとても協力的で、仲良しな学校です。子どもたちがいい子ばかりなのは、そんな大人の姿をちゃんと見ているのだなと感じます。また、私たち保護者に限らず、地域にお住いの方々全員が、子どものための活動をしてくれています。「For the 啓北小」ですね。

ＰＴＡ活動が変わろうとしていますがそのキッカケは?

やはりコロナ禍になり、今まであった生活ができなくなったことが一番です。永年、先輩方が築いて下さったＰＴＡの活動が何もできなくなりました。ただ、そこで黙って機を待つのではなくて、これまでの活動を振り返り、今後どのようなＰＴＡ活動をするべきか考えてみようということになりました。

どのような意見がありましたか?

今までの活動はやるべきことがしっかり決まっていたので、それを踏襲していけば活動自体は成り立ちました。でもそれができなくなった時に「自分たちがやりたいことは何だろう?」と話すことが増えました。次に「人は繋がるべき」じゃないかと。これから啓北小学校に入学してくる保護者の方々をどうやって繋いでいけばいいのか。この2点だったと思います。

そこでプロジェクト方式が生まれたのですね

もうちょっと経緯はありました(笑)が、そうなりました。

新たな活動方式に取り組むうえで心掛けていることはありますか?

もしかしたら私だけの意見かもしれませんが、活動する目的は常に「子どもたちのために」です。そして「大人も子どももニコニコできる活動をする」ことです。私たちは子どもたちにとってＰＴＡ会員ではないですよね?もともと親と子なんです。会員として活動できるできないはあっても、親と子の関わりは常にあるんです。そこを〝親たち〟と〝子どもたち〟の活動にできたらなと思います。やりたいことをしていきたいです。

あとは、やるからには楽しい方が絶対いいじゃないですか。大人がニコニコしていれば、子どももニコニコする。これは暗示のようにいろんなところで話していますが(笑)、いつも大人のことを見ていますからね。

笑顔が繋がる光景が目に浮かびますね

妄想だけは膨らみ続けています(笑)。

プロジェクト方式についてもう少し詳しく教えてください

「やってみたいことを募って、やりたい人が集まって、やってみる」です。2年前に今後の活動についてアンケートにご協力いただきましたが、協力できるとご意見をいただいた時間帯や日程は予想以上にばらけていました。それぞれの方が気軽に参加できて、やってみたいことに取り組んでいきたいと考えています。私たちが納めているＰＴＡ会費ですから、私たちが思うように費用を使って活動していけたらと思います。「やりたくない」ことがあればやめてしまえばと思います。

すでに取り組まれているプロジェクトもあるようですね

スクールガードプロジェクト（見守り活動）ですね。本当にたくさんの方が黄色の腕章をつけて協力して下さっています。中には毎日活動していただいている方もおり、すごく感動しています。このプロジェクトを生んでくれた役員にも本当に感謝しています。

〝皆さんが自主的に活動に参加される〟それ自体がすごいことだと思います!

そうなんです!「子どもたちへの想い」を強く感じています。6月に募集して実施された夜間巡視プロジェクトには、遅い時間にもかかわらずたくさんの方々に参加していただきました。今後の活動についても意見交換をして。いろんな形で参加できるんだということを皆さんから教わりました。

さらに〝特別授業のプロジェクト〟もあると伺いましたが・・・

感動体験プロジェクトです。親と子が一緒に活動することはコロナ感染の影響を受けやすく、中止にせざるを得ないことがありますが、感染がどれだけ広がっても、学校が休校になることもなく、学校で授業が受けられています。それ自体を特別なことにできないかという思いから、プロジェクトとしました。いつもの授業とちょっと違う非日常的で、なんだかワクワクするような授業を企画しています。講師派遣となればＰＴＡ会費から費用を捻出して、講師への依頼や日程調整などはすべて事務局(教職員)の皆さんが協力して下さっています。会員による体験授業も現在企画中です。

どのプロジェクトも「For the 啓北小」が感じられますね

本当にそう思います。やることだけが決まれば、あとは皆さんが形にして下さるのだろうなと感じます。企画作りが重要ですね。

最後に皆さんへ一言お願いします

啓北小の保護者の皆さん、教職員の皆さん、いつも子どもたちのためにご協力をいただきましてありがとうございます。プロジェクトの実施は、今年もコロナ禍で苦戦続きです。いただいたアイデアからプロジェクトを立てましたが形にすることができず残念です。次年度こそは、皆さんと一緒に知恵を出しあいながら取り組んでいきたいと思っています。

そこで、「プロジェクト作りを一緒に考えたい」「運営の手伝いならしてみたい」という方がいらっしゃいましたら、ぜひご協力をお願いします。どんな時代も子どもたちの暮らしが健やかであるように大人たちで力を合わせて「ガハハ」と笑いましょう。私の野望はずばり、啓北小で〝ギネスに挑戦〟です!よろしくお願いいたします!!

野望プロジェクト乞うご期待ですね(笑) 武田会長、ありがとうございました!

PTA会員の皆さん、
プロジェクトに参加して
楽しく活動してみませんか？

次年度のPTA活動について
「例年行っているから」とか、
「もう決められているから」ではなく、
「子どもたちのためにコレをやってみたい」
「こんなことを提供できるよ!」
という声で活動の中身を考え、
カタチにしていきたいと考えています。
そのために、**一緒になって活動してくれる方**、
準備段階から協力してくれる方を
募集しています。

別紙のアンケート用紙に
ご記入の上、期日までに
学校へご提出ください。